



ともしび

— TO MO SI BI — 第271号

2018(平成30)年11月号

報 恩 講

朝晩の冷え込みが進み、そろそろ暖房器具を出す季節になりました。先月から衣替えになりましたが、我が家ではようやく冬物を出そうかというほどのんびりしております。皆さまはいかがでしょう。

この季節が来ると、浄土真宗のお寺では報恩講が勤められます。報恩講は、浄土真宗の宗祖・親鸞聖人の御命日である1月16日(旧暦は11月28日)の近い時期に、聖人のご遺徳を偲びつつ、聖人のご苦勞を通じて、阿弥陀さまのお救いを心に味わい、お念仏を申していく気持ちを新たにすることを大切な行事です。

報恩講がお勤めされるようになったのは、第三代宗主・覚如上人が親鸞聖人の三十三回忌にあたる永仁三(1295)年、聖人のご遺徳を讃え「報恩講私記」を著されたのが起源となります。これは、法然聖人のご命日に「二十五日のお念仏」という集会にならって出来たといわれています。

そして、報恩講がお勤めされる時には、親鸞聖人のご生涯をテーマにした絵巻が掛けられます。これが「御絵伝(ごえでん)」です。また、報恩講期間中に拝読されるのが、聖人のご生涯を詞書にしたものである「御伝鈔(ごでんしょう)」です。「御伝鈔」は上巻八段、下巻七段の計十五巻で構成されており、非常に味わい深いものになります。実際に拝読すると長時間になります。

今号では、その中で下巻第三段にあるお話しをご紹介します。このお話しは、「御伝鈔」の中で最もドラマチックなエピソードです。一般的には山伏・弁円と言われていますが、実際には定かではありません。

親鸞聖人が常陸国(現在の茨城県)で念仏の教えを広めておられた頃、元々その地で行者としていた山伏が念仏の教えが広まっていくことに怨みを持ち、親鸞聖人に危害を加えようとしておられます。聖人はいつも板敷山を通っておられたので、山伏達は待ち伏せして機会をうかがいますが、どうしてもうまくいきません。

そこで、親鸞聖人の住居へ赴き命を狙おうとしますが、何のためらいもなく出迎えられた聖人のお顔を見て、危害を加えようとした心がたちまち消えて、後悔の涙を流したのです。そして、これまでの経緯を聖人に話して自分の刀や弓、山伏の装束を捨て仏教に帰依されました。この山伏を聖人は、明法房(みょうぼう)と名付けられたのです。

明法房は、親鸞聖人との出遇いでこれまで自分が信仰してきた修験道を捨て、仏道に帰依し、念仏を広めていけるほどになりました。そして、明法房が亡くなった際には、親鸞聖人が直々に手紙を送られ、浄土往生を喜ばれたというお話もあります。また、本派寺院の大覚寺は、明法房ゆかりの寺院として有名です。その他にも、この地域にはゆかりの寺院が数多くあるそうです。

当会館におきましては、例年の通り11月23日に、午前(日中法要)と午後(逮夜法要)に報恩講をお勤めいたします。どうぞ、ご家族お揃いでお参りください。

仏事あれこれ

仏事のQ&A

Q. お仏壇の掃除は？

A. いつも清潔に整えましょう。

お仏壇はご本尊を安置し、家族一人ひとりの心の依りどころとなるところです。つねに清潔で気持ちよく整えておかなければなりません。ところが、月忌参りをしていると、お仏壇の中に不要なものが入っていたり、仏具が煩雑に置かれていたり、また、埃がたまっていたりするお宅がたまにあります。

こうした光景に出会うと、「お仏壇は心の鏡」と言われた先人の言葉が浮かんで来て、自らも心しなければと改めて思います。

それはさておき、お仏壇の中を整える第一歩は、それぞれの仏具を定められたところにきちんと置くことでしょう。よく経卓の上にローソク立てや香炉を置いていたかと思いますが、経卓には経本のみを置き、ローソクや線香の箱、マッチなどは引き出しの中に

入れるか、お仏壇の傍にお盆や整理箱を用意し、そこにまとめておくとういでしょう。また、三本足のローソク立てと香炉は一本が正面にくるように置きます。

次に、不要なものを置かないということも大切です。たとえば、①他宗の仏像や祖师像②お守りの札③茶湯器やコップ④位牌などです。これらは浄土真宗のお仏壇には用いませぬので、手次のお寺に相談されて、取り除いてください。亡き人の写真もお仏壇の中には入れませぬ。飾りたいのであれば、お仏壇の横や対面する棧の上などに掲げてください。

最後に掃除ですが、漆塗りの部分はやわらかい布で乾拭きし、金箔の部分は毛ぼうきや乾いた筆で軽く払います。ともに塩分や水分を嫌いますので、手で直接触ないことです。真鍮製の仏具は金属磨きで磨きます。

またマッチの燃えかすを香炉のリンの中に入れる方がいますが、マッチけしや灰皿へいれるようにしてください。お仏壇自体が傷んでくれば、お洗濯すると新品同様になります。

『新・仏事のイロハより抜粋』

お知らせ

築地本願寺報恩講参拝

期日 11月11日(日)

時間 11時30分集合

※時間厳守

場所 築地本願寺

(中央区築地3-15-1)

内容 築地本願寺の向かいの有名店「すし岩」で昼食をいただいた後、14時からの法要にお参りいたします。

終了予定は16時頃となります。

※参拝をご希望の方は、当会館まで

ご連絡ください。

現地集合・現地解散となります。

平成30年の年回表

平成30年 年回表	
1周忌	平成29年
3回忌	平成28年
7回忌	平成24年
13回忌	平成18年
17回忌	平成14年
23回忌	平成8年
25回忌	平成6年
27回忌	平成4年
33回忌	昭和61年
50回忌	昭和44年

10月行事の様子

★常例法座 10月14日(日) 13時～15時

午前中の雨もお昼には止み、15名の方が参拝されました。
ご一緒に正信偈をお勤めし、ご講師・龍山利道師よりご法話をいただきました。

勤行「正信念仏偈」

龍山 利道師

10月の誕生日の皆さま



ご講師・龍山先生は、この度初めてのご縁でした。今回はご法話の前にお勤めした正信偈について、わかりやすくお話をいただきました。(写真中)

★築地本願寺分院報恩講参拝 10月20日(土)、10月27日(土)

築地本願寺分院の和田堀廟所、慈光院の報恩講に参拝いたしました。
和田堀廟所へは5名、慈光院へは2名の方がそれぞれ参拝されました。

10/20 和田堀廟所

法要の様子

外陣にて



10/27 慈光院

法要の様子

外陣にて



東久留米会館の 行事案内

—Schedule—

▶ 1 1月の行事予定

公開講座

11月4日(日) 午後1時30分～

ご講師 立川談慶師匠、多田修師
テーマ おてらくこのススメ
※詳細は同封のチラシをご参照ください。

親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

11月16日(金) 午前7時～

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか?
お供物のおさがりをプレゼントいたします。

おみがき・境内清掃

11月18日(日) 午前10時～

報恩講に向け、仏具のおみがき、
館内・境内の清掃を行います。
ご協力よろしくお願ひいたします。

報恩講

11月23日(金) 午前10時～
午後1時～

ご講師 本多静芳師(東京都 万行寺)
親鸞聖人の御命日にあたり、聖人の
ご遺徳を偲び、感謝する法要です。
同封の葉書にて、出欠のご返信をお願いします。

▶ 1 2月の行事予定

第2回キッズサンガ子ども会

12月8日(土) 午前10時～

冬の風物詩、焼き芋をします。
初めてのお子さまも大歓迎です。

常例法座

12月16日(日) 午後1時～

ご講師 村上弘樹師
(山梨県 真光寺)
どうぞ、お気軽にお参りください。

除夜会

12月31日(月) 午後4時～

1年を振り返り、改めて仏さまに感謝の
気持ちを新たにする法要です。

東久留米会館会報「ともしび」
第271号
発行日 2018年11月1日
発行者 安邊 泰教
住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30
電話 042-474-6787

編集後記
最近、長女が習い事(お絵かき教室)をはじめました。最初は緊張していたようですが、教室の子ども達ともすぐに打ち解けて、楽しんで通っています。教室が少し離れた場所であり、私が車で送迎しているのに週に1回長女とドライブデートです。初めての習い事なので、長続きしてほしいと思います。(安)

奥川 眞三様
今月のお仏飯米のご進納
ありがとうございました。